

横浜市教育委員会
臨時会会議録

- 1 日 時 平成28年9月12日（月）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 岡田教育長 今田委員 間野委員 西川委員 長島委員 宮内委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

平成 28 年 9 月 12 日 (月) 午前 10 時 00 分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

横浜市指定文化財の国重要文化財指定に伴う市の指定文化財の解除について
第 57 回 横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭について
平成 29 年度 横浜市立高等学校入学者選抜の実施等について

3 審議案件

教委第 38 号議案 学校運営協議会を設置する学校の指定について

教委第 39 号議案 学校運営協議会委員の任命について

教委第 40 号議案 教職員の人事について

教委第 41 号議案 教職員の人事について

4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

岡田教育長

それではただいまから、教育委員会臨時会を開会いたします。

はじめに会議録の承認を行います。8月22日の会議録の署名者は今田委員と宮内委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

岡田教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、前回9月2日の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小林教育次長

【一般報告】

1 市会関係

○9/6 本会議（第1日）議案上程・質疑・付託

○9/9 本会議（第2日）一般質問

教育次長の小林でございます。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、9月6日に、本会議第1日目が開催され、議案上程、質疑、付託が行われました。

また、9月9日には、本会議第2日目が開催され、一般質問が行われました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○9/2 平成28年度横浜市総合教育会議

○9/7～ 心の教育ふれあいコンサート

(2) 報告事項

○横浜市指定文化財の国重要文化財指定に伴う市の指定文化財の解除について

○第57回 横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭について

○平成29年度 横浜市立高等学校入学者選抜の実施等について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、9月2日に、平成28年度横浜市総合教育会議が林市長の主宰により、関内新井ホールで開催されました。教育長、教育委員が出席し、今年度は、「横浜ならではの資産を生かした多様な教育機会の創出～子どもたちの『本物』体験の充実に向けて～」という議題で意見が交わされました。

また、9月7日からは、横浜みなとみらいホールにおきまして、心の教育ふれあいコンサートが開催されております。こちらは、オーケストラ演奏の鑑賞を通して感性を磨き、心豊かに生きていこうとする資質や能力を育むことを目的として実施するものでございます。また、同時に、クラシックコンサート鑑賞時のマ

ナーを学ぶことも目的としております。対象は、市立の全小学校、4、5、6年生のうちの1学年と、希望する特別支援学校の小学部の児童となっております。9月7日から10月21日までの間に合計10日間、1回60分の公演を、午前と午後の1日2回行う予定となっております、9月9日の午前中の公演には、宮内委員が出席しております。

次に、報告事項でございます。

横浜市指定文化財の国重要文化財指定に伴う市の指定文化財の解除について、ですが、同じタイトルの資料をお手元にお配りしておりますので、そちらを御覧いただければと思います。

横浜市指定文化財「氷川丸」が、平成28年8月17日付で国指定重要文化財となりました。これに伴いまして、横浜市文化財保護条例第7条第3項の規定に基づきまして、同日付で市の文化財指定が解除となりました。詳細につきましては、お手元の資料を御覧いただければと思います。

次に、第57回横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭について、及び平成29年度横浜市立高等学校入学者選抜の実施等について、の2点でございますが、これらにつきましては、この後、所管課から報告させていただきます。

私からの報告は以上でございます。

岡田教育長

報告が終了いたしました。御質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

宮内委員

心の教育ふれあいコンサートについて、一言申し上げます。児童が生のオーケストラに実際に接するというすばらしい企画だと思いました。選曲が優れていて、コマーシャル等で多分一度は耳にしたことがあるという曲を、非常に効果的に組み合わせていると思いました。

マナー学習を兼ねているということなのですが、各校のマナーにはばらつきがあるのですけれども、コンサートの最後に、音楽会を鑑賞しに来ている児童全員が拍手で参加するという形の「ラデツキー行進曲」をやると、全員が非常に盛り上がり、ぐずっている人がいなくなる。そういうことで、非常によく考えてプログラミングがされていると思って、私は非常に感銘を受けました。

以上でございます。

岡田教育長

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、ほかに御意見・御質問がなければ、第57回横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭について、所管課から報告いたします。

長谷川指導部長

指導部長の長谷川です。よろしくお願いたします。それでは、今月の29日に開催いたします、横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭の概要につきまして、所管課長より説明いたします。

仲程特別支援教育相談課

特別支援教育相談課長の仲程と申します。今回、57回を迎える合同体育祭は、個別支援学級に在籍する生徒が主役となって活動できる貴重な機会の1つとして、これまでも特別支援学級において重要な役割を果たしてまいりました。

生徒にとっては、この合同体育祭に参加することによって、運動に対する自信と喜びを体得するとともに、在籍校では体験できないような大きな集団の中で、社会に必要な規律と行動を身に付けていく大きな機会となっております。

昭和33年からの伝統的な行事でもあります。この機会に、生徒たちの頑張りをどうぞ御覧ください。

場所は三ツ沢陸上競技場を予定しています。

スローガンですが、「超絶勝利 ベストを尽くして限界突破」となっております。これは大体3か年を目処に子供たちからスローガンを募集しまして、このスローガンになって今年で2年目となっております。

内容としては、個人競技として50メートル走、100メートル走、ボール投げ、幅跳びの男女、持久走は、男子は1500メートルと1200メートル、女子は1200メートルです。それから、団体競技として400メートルリレーを予定しております。

詳細、会場の図は別添のプログラムどおりです。

なお、名称として、横浜市立中学校個別支援学級・特別支援学校合同体育祭という題がついておりますが、昨年度もこの教育委員会の場の中で御指摘がありましたが、実質的には、20年ほど前から個別支援学級のみの子の参加となっております。これは参加人数が増えてきたこと、それから、特別支援学校からの移動の手段、プログラムの中に入れていく時間の制約もありまして、少しずつ参加が少なくなってきたこともあります。名称を個別支援学級の合同体育祭に変更しようという動きは去年からありますが、体育祭だけではなくて、1月末に開かれる合同学芸会等もあり、検討に時間がかかりましたけれども、今年度いっぱいできちんと結論をつけようという方向でおります。

以上でございます。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御質問・御意見がありましたらお願いいたします。

間野委員

以前の大会では、パラリンピアンがゲストに来て、いろいろ試技を見せていただいたことがあったと思うのですが、今年はそういったものはあるのでしょうか。

仲程特別支援
教育相談課

体育協会からのスポーツ基金を使わせていただきました。今年度もそういう方向での話はあったのですが、ちょうどパラリンピックの時期もありまして、来ていただく難しさもあり、ビデオメッセージも検討していますけれども、こちらの準備のスタートが遅かったこともありまして、具体的なことが難しい状況にあります。来年度以降はもっと早い時期にビデオメッセージをきちんと、特にお昼の時間に使うような方向で進めていこうと思っております。

間野委員

何が問題なのですか。僕は基金の代表幹事ですから、基金は多分資金として用意しています。

仲程特別支援
教育相談課

それは大丈夫です。

間野委員

なぜそれがアクセスできないのですか。横浜出身のパラリンピアンもいますし、せっかくの機会なので、準備が遅かったという理由だけでは子供に申し訳ない気がします。

長谷川指導部
長

今、実際ビデオレーターという形で、交渉はしています。まだそれが正式にお返事をいただいていないというところがありますが、来ていただくのは難しいということなので、ビデオレーターという形で交渉は続けています。

岡田教育長	それは今年だからということですか。
長谷川指導部長	ちょうどパラリンピックが重なっていて、人選的に難しかったということもあります。
長島委員	よろしいですか。昨年は確か、体育大学の生徒さんのダブルダッチが、ちょうど、雨が降ってきてしまってパフォーマンスが長くはできなかったのですが。子供たちにとってはパラリンピアンだったり、有名なEXILEの方だったりではなくても、応援してくれる方々が来てくれるということはとても大きいので、そういう方々がだめなのであれば、別のそういう学生であるとか、運動を担っている方々の協力に対してのアプローチはされているのでしょうか。
長谷川指導部長	去年のダブルダッチも大変良かったので、日体大の方たちにもアプローチはしたのですが、どうしても日にちの都合がつかなかったということもあります。ただ、本当に子供たちにとって、どなたかに来ていただいて、実際演技なりパフォーマンスなりを見せていただけるというのは非常に有り難いことなので、来ていただくのは難しいかもしれないのですが、ビデオレター的なメッセージという形も含めて、期間が迫ってきていますけれども、現在交渉は進めています。
岡田教育長	もう一つ、参加者が非常に増えてきまして、そういう方たちのパフォーマンスを見せていただく時間をとると、子供たちの競技の時間が少なくなるという、両方のバランスをとっていかないといけないので、そこもまた主催者としては苦勞するところです。
西川委員	私も、今、間野委員と話していたのですが、陸上の走り幅跳びの鈴木選手が御挨拶のときに、自分の足を壇上で披露して、実際に演技していただくという場面では、とても感動しました。子供たちも「自分たちも頑張ろう」というような、「何かできるのではないか」という雰囲気できたので、効果的だと思います。今年は無理なところがあるようですが、来年以降は早めに計画を立てて、是非実行してほしいと思います。よろしくをお願いします。
仲程特別支援教育相談課	現場の先生方の御意見、子供の希望等もあると思いますので、それも聞きながらやっていきたいと思います。
岡田教育長	それでは、また来年に向けて次の工夫をお願いいたします。 それでは次に、平成29年度横浜市立高等学校入学者選抜の実施等について、所管課から報告いたします。
奥田国際教育等担当部長	国際教育等担当部長の奥田です。よろしくをお願いいたします。 平成29年度の市立高等学校の入学者選抜検査におきまして、記号選択式問題等における解答方法としまして、マークシート方式を導入することといたしましたので、詳細について、高校教育課長から説明させていただきます。
西村高校教育課長	高校教育課長の西村でございます。よろしくをお願いします。 昨年度、平成28年度の入学者選抜検査におきまして、県立高校の採点誤り等が判明し、発表されました。その際に、平成29年度の入学者選抜検査等について、

再発防止、それから改善策ということが平成28年6月21日に神奈川県教育委員会より発表されました。その際、記述式問題の採点に専念する時間を確保する必要があるということ、また採点点検にあたってヒューマンエラーを防止するという観点から、記号選択式問題等における解答方法として、マークシート方式の導入が県の教育委員会で決定いたしました。

その決定を受けまして、本市市立高校の入学者選抜検査につきましても検討を重ねてまいりましたが、中学生、受験生の混乱を避けるという意味合いからも、県立高校の検査方法と同様な方法で実施することといたしました。とりあえず平成29年度ではありますが、それ以降につきましても同様な形になるのではないかと思います。

今後の予定でございますが、今後の実施方法と細部をまだまだ詰めなければいけない案件がございますけれども、これにつきましては、今後、神奈川県、川崎市、横須賀市と調整して、子供たちがスムーズに受検できるようにしていきたいと思っております。

以上でございます。

岡田教育長

説明が終了いたしました。御質問・御意見がありましたらお願いいたします。

西川委員

1つお願いがあるのですが、この方式でよろしいと思っております。ただ、中学生は初めてマークシートの受検をする部分がありますので、例えば、鉛筆とかボールペンとか、今は機能が良くなっていますから、どういう方法ですのか分かりませんが、消したのに少し残ってしまったとか、そういうことが、誤記載ではないですけれども、間違いないような方法を、是非中学生にも少し慣らしてほしいと考えます。よろしく御指導ください。お願いいたします。

奥田国際教育
等担当部長

今後、神奈川県から実際に使うマークシートそのものを全校に配付していただく予定でございます。配付後に各学校で、実際にマークシートのつけ方も年内には必ず指導を終えまして、来年に備えたいと考えております。

今田委員

従来の何方式からマークシート方式という言い方になるのですか。

奥田国際教育
等担当部長

方式名としてはあれですが、従来はそれぞれが自分の答案用紙の記号のところに「どれに丸、どれは誤りにつけました」という印を生徒が全部つけていました。それを採点する人間が、「1番の1に丸がついている、2番の何番に丸がついている」という見方で目視確認しておりました。そこを今度はシート上に転記するという方法に変わりました。

今田委員

前のときのやり方、言い方は。こういうマークシート方式ではないけれども。

奥田国際教育
等担当部長

記号選択ですね。例えば、「次の4問から正しいものは何番ですか」というような。

今田委員

記号選択式問題における解答方法として、今までの何々方式からマークシート方式に変わる、と言うと、一般的には分かりやすいと思うのですが。前のやり方の説明はなかなか難しいのですか。

西村高校教育

神奈川県は公立高等学校の入学者選抜につきましても、記述式、きちんと子供

課長	たちの考え方…
今田委員	いやいや、そうではなくて。日本語で書いてあるから、記述式の採点に専念する時間を確保し、と書いてあるので、ねらいとすることは分かるのですが、今までの方式の分かりやすい言い方はないのですか。
西村高校教育課長	そうですね。なかなか難しいかと思います。
今田委員	新しくこういう方式、今までは、何々方式というのがあってしかるべきですよ。ね。
奥田国際教育等担当部長	今までは記号選択式、それから記述式という言い方しかしていなかったものから、記号選択式の解答方法として数字を書くのか、マークをつけるのかということは、今までそういう案内をしておりませんでしたので、なかなか言いやすい言葉がない状態でございます。
今田委員	分かりました。
岡田教育長	ほかには、長島委員、よろしいですか。
長島委員	マークシートになっても、やはり採点ミスということに対してはきちんと、それについてのまた問題点もあるかと思しますので、その辺もきっちり進めていただけたらと思います。よろしくお願いします。
奥田国際教育等担当部長	今ありましたとおり、マークシートにすることでかなりまた様々な問題というものも考えられますので、十分に精査したいと思います。
岡田教育長	また詳細をしっかりと詰めていきたいと思しますので、よろしくお願いします。
奥田国際教育等担当部長	よろしくお願いします。
岡田教育長	では、次に移りたいと思います。 次に、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第39号議案「学校運営協議会委員の任命について」、教委第40号議案及び教委第41号議案「教職員の人事について」は人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。
各委員	<了 承>
岡田教育長	それでは、教委第39号議案から教委第41号議案までは、非公開といたします。 議事日程に従いまして、教委第38号議案、「学校運営協議会を設置する学校の指定について」、所管課から説明いたします。
長谷川指導部長	指導部長の長谷川です。よろしくお願ひいたします。教委第38号議案、新規に学校運営協議会を設置する学校の指定について、御審議をお願ひいたします。

ページをおめくりいただきまして、裏面2ページを御覧ください。提案理由でございます。横浜市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第3条の規定に基づき、寺尾小学校ほか2校を学校運営協議会を設置する学校として指定したいためでございます。

右側3ページを御覧ください。指定する学校は、寺尾小学校、太田小学校、富岡小学校、計3校、3協議会です。2、指定日ですが、平成28年10月1日で、平成31年3月31日までの指定となります。これによって、学校運営協議会を設置している学校の累計は140校、122協議会となります。

指定希望校からの申請概要につきましては、指導企画課長より御説明いたします。

三宅指導企画
課長

指導企画課長の三宅でございます。寺尾小学校、太田小学校、富岡小学校の学校運営協議会設置につきまして、特徴的なところを取り上げて御説明いたします。

4ページを御覧ください。まずは、寺尾小学校でございます。寺尾小学校の校長は佐藤正子校長でございます。学校の教育目標に「豊かな関わりの中で学ぶ子・育つ子・寺尾の子」を掲げております。

次に、2の設置のねらいを御説明いたします。寺尾小学校は住宅地の中にありながら、豊かな自然に囲まれた学校でございます。その自然を生かしたトリムコースと呼ばれる運動のできる遊歩道は、子供たちの遊びや学びの場となっております。

学校内にはふるさと資料室が常設され、展示・保存されている昔の生活道具や農機具は、本校の児童だけではなく、近隣の学校や地域の方々にも利用されております。また、茶もみ、餅つき、花火大会などの様々な行事やクラブ活動、交通安全などへの多くの支援も行われ、学校教育目標にある、豊かな関わりを通して、充実した教育活動が行われております。

昨年創立60周年を迎え、保護者や地域の方の支援体制がより確かなものとなり、今後もこの関係を継続・推進していく考えでございます。

これらの支援には、保護者や地域だけではなく、おやじの会、卒業生、近隣の東高校の生徒など、大変多くの方の協力を受けております。学校運営協議会を設置することによりまして、このような学校と地域の良好な関係の維持・推進や、豊富な地域の教育力を生かした学校運営が発展的かつ継続的に行われると考えております。

続きまして、5ページの5、学校運営協議会組織案を御覧ください。寺尾小学校では、学校運営支援、教育活動支援、地域連携支援という3つの専門委員会を設置し、教職員の校務分掌やボランティア組織と連携・協働し、学校運営に参画できる体制をつくっております。

続いて、6ページを御覧ください。学校運営協議会の会則ですが、これまでの設置校同様、横浜市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則等に沿った会則となっております。太田小学校、富岡小学校についても同様でございます。

続いて、7ページを御覧ください。太田小学校の学校運営協議会について御説明いたします。太田小学校の校長は、亀井孝洋校長でございます。学校教育目標に「思いを伝え合い、進んでチャレンジ、みんな仲良く！かがやけ太田の子」を掲げております。

次に、2の設置のねらいを御説明いたします。太田小学校は、今年創立144周年を迎える伝統のある学校で、児童の父母、祖父母、曾祖父母も本校の卒業生とい

う家庭も少なくない環境でございます。本校はユニバーサルデザインの視点を大切にした教育活動を行うとともに、家庭・地域との連携も進め、開かれた学校づくりを行っております。

また、課題としては、児童数の減少に伴って教職員数が減少し、一人ひとりの負担が増していることが挙げられております。それを解消するために、日頃の教育活動におきましても、保護者や地域の方々から支援を受けておりますが、学校運営協議会を設置し、地域の教育力を効果的に活用していくことをねらいとしております。学校運営協議会の設置がユニバーサルデザインの視点を基盤とし、一人ひとりに寄り添った本校の教育活動の特色をより一層強化して、児童の健全育成と学校の運営改善に大きな役割を果たすことになると考えております。

続いて、8ページの5、学校運営協議会組織案を御覧ください。太田小学校では、地域連携、教育活動、生活支援という3つの専門委員会を設置し、保護者・地域の方が中心となっているボランティア組織と連携・協働し、学校運営に参画できる体制をつくっております。

最後に、富岡小学校の学校運営協議会設置について御説明いたします。10ページを御覧ください。富岡小学校の校長は、菅沼伸一校長でございます。学校教育目標に「ともに みとめあい おしえあい かがやこう 富岡」を掲げております。

次に、2の学校運営協議会設置のねらいを御説明いたします。富岡小学校は、明治6年4月1日に開校し、今年143年目を迎える歴史ある学校でございます。これまで地域の多くの方々から様々な学校教育活動に対して支援を受けております。保護者からも学校教育活動に御理解をいただき、児童の活動を支えていただいております。

また、学区内には横浜市三春学園が設置されており、現在10名の児童が本校に通学しております。年度初めの職員学園訪問や面談時の学園職員来校等、日頃から学園職員との連携を密に図っております。

まちとともに歩む学校づくり懇話会が定着し、地域との関係も良好で、特に花壇応援隊など、地域ケアプラザ、区役所と連動した事業が軌道に乗りつつあり、図書ボランティアやクラブ活動支援も充実してきております。

しかし、現在行われている様々な支援活動のそれぞれの組織が単体で活動している状態となっていることや、地域の実態、多様な価値観、様々な家庭環境で育った子供たちの健全育成を図るためには、更なる連携の充実が必要と考えました。

そこで、学校運営協議会を立ち上げ、地域の教育力を生かした学校経営を展開するために、地域・保護者の代表が積極的に学校運営に参画することで、児童の健全育成と学校支援の強化・効率化を図り、更に連携を深めることで、学校運営の改善を推進したいと考えています。

そして、学校運営協議会を通しまして、富岡小学校が地域連携の拠点としての役割を担えるような学校づくりにつなげていきたいと考えております。

続きまして、11ページの5、学校運営協議会の組織案を御覧ください。富岡小学校では、学習支援、生活支援、地域連携の3つの専門委員会を設置し、ボランティア組織や教職員の校務分掌と連携・協働しながら学校運営に参画できる体制をつくっております。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。御審議よろしくお願いたします。

岡田教育長	<p>所管課から説明が終了いたしました。御質問・御意見がございましたらお願いいたします。</p>
長島委員	<p>説明ありがとうございます。学校運営協議会は、やはりその学校の環境がとても重要な要素になってくるかと思えます。常日頃から、地域に愛される市立高校になってもらえるように、地域に関わったり、子供たちに関わってほしいと言い伝えているのですが、今回の寺尾小学校の場合、東高校が近いということで、今の説明の中に名前が出てきたのですけれども、学校運営協議会運営組織案の組織構成メンバー15名の中に東高校関係者がいたらもっとすばらしいと感じています。せつかくですから、小中高の連携まで含まれていくと、市立高校の役割というものが、ある意味ここで見えてくるのではないかと感じていますので、今後そういうことも、いろいろ連携したり、活動していく中で、そこまで踏み込んでいけると良いのではないかと感じました。</p> <p>それから、太田小学校の場合、地域中学校区に初めての運営協議会ということで御報告があったのですが、新しくできるころこそ、中学校区で中学校を核にした運営協議会ができるようになるのも1つの方法なのではないかと思えますので、今後相談があったときに、そういうことも対応していくことも大事なのではないかと思いました。</p> <p>それから、富岡小学校の場合は、やはり地域の環境の中にいろいろな子供たちがいるということで、協働・共生を子供たちや地域住民とともに考えていく大事な場になるかと思えます。子供たちがいずれ育って大人になったときに、大事なものは何かということをごここでしっかり学べる素材がありますので、どうかこの成功を見守りたいと思っています。感想や思いです。</p>
岡田教育長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
今田委員	<p>それぞれの学校、寺尾は70年、あとの2つは140年ということで、特に長い歴史の中で、このように今の状況を踏まえて学校運営協議会を設けることになったことに敬意を表したいと思えます。その上で、これは全体的な質問ですが、学校運営協議会は一般的にどの程度、平均的に開催されていますか。今回の3校はこれから新しくできるので今回の3校ではなくて、一般的にどの程度開催されているのかということが分かれば、教えていただきたいと思えます。個々の学校によりますか。</p>
三宅指導企画課長	<p>各学校により違いますが、大体年に4回から5回開催されております。</p>
今田委員	<p>年に4回から5回、最低でもそれぐらい必要かと思えます。地域性もいろいろあるのでしょうかけれども、少なくともそれぐらいの頻度で開催できるように頑張っていたいただきたいと思います。以上です。</p>
西川委員	<p>今のところで私も質問があるのですが、年4回から5回以上開催というのはとても良いことだと思っています。まちとともに歩む学校づくり懇話会だと年に2回ぐらいですよね。内容ももっと深められるのではないかと感じていたのですが、気になったところは、太田小学校が良い、悪いではなくて、会議開催が年3回以上と書いてあります。何か事情があるのかもしれませんが、できればせつかくの機会なので、深めていただけたら有り難いと思いました。</p>

宮内委員	地域ぐるみで子供を育て、地域の力を利用するという制度は、従来の横浜ではまちとともに歩む学校づくり懇話会でしたか。
長谷川指導部長	そうです。
宮内委員	<p>そういう制度があつて、それを法律の整備とともに合体させたと了解しています。それで、メンバーの選び方というのがとても大事なのではないかと思います。ただし、これはあくまでもコミュニティー自治を原則としてやるべきであつて、行政は過度に介入してはいけないものだろうと思っています。</p> <p>ただし、どんな組織でも、どんな集団でも、内部対立があつたり、また学校との対立があつたり、暴走したりする可能性というのは常にあるわけです。ということで、教育委員会としては、やはりモニタリングだけは何らかの形ですべきだろうと思います。</p> <p>質問は、そのようなモニタリングのツールはあるのでしょうか。</p>
三宅指導企画課長	ツールとしてのモニタリングとは明確にはされていないのですが、関係する指導主事が時をとらえて同席するというか、状況を見せていただくというようなことは行っております。
宮内委員	是非、強制性はない形で、コミュニケーションを円滑にさせていただくようお願いいたします。
岡田教育長	それと、西川委員からの御質問の協議会規則の寺尾と富岡はいずれも年4回以上になっていたのですが、太田小だけ年3回以上と規定していましたが、何か事情があるのかという御質問はどうですか。
三宅指導企画課長	失礼いたしました。今の時点での太田小の考えで、今年度はこれで指定されますと、残りが半年ということで、今の時点では3回という原案で考えているということです。
西川委員	ということは、今後年間を通すと変わるということもあるのですよね。分かりました。
岡田教育長	でも、それはほかも同じですよ。要するに、特段の事情があるわけではないのですかという質問です。
三宅指導企画課長	特別な理由があるとは聞いておりません。
岡田教育長	<p>それでは、頑張ってもう少し開催できるようなことはお伝えしましょう。ほかにはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、教委第38号議案については、原案のとおり承認いただいてよろしいですか。</p>
各委員	<了 承>

岡田教育長

それでは、原案のとおり承認させていただきます。
以上で公開案件の審議が終了いたしました。そのほか何かございますか。
それでは、事務局から報告をお願いします。

古橋総務課長

事務局から報告いたします。9月9日に個人の方4名から、俣野小学校・深谷台小学校の統廃合に関する要望書が提出されました。また、同じく9月9日に個人の方2名から副読本に関する要望書が提出されました。これらの要望書につきましては、事務局で対応を調整の上、教育委員会で審議が必要な場合は、次回以降にお諮りしたいと思います。委員の皆様は、内容の確認をよろしく願いいたします。

次回の教育委員会定例会は、10月7日金曜日の午前10時から開催する予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

岡田教育長

それでは、次回の教育委員会定例会は10月7日金曜日の午前10時から開会を予定いたします。別途、通知いたしますので御確認をお願いいたします。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方は御退席をお願いいたします。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第39号議案「学校運営協議会委員の任命について」
(原案のとおり承認)

教委第40号議案「教職員の人事について」
(原案のとおり承認)

教委第41号議案「教職員の人事について」
(原案のとおり承認)

岡田教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時34分]